



地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



2020年度
定期総会

組織拡大・政策推進に代議員5人が発言

2020・21年度新役員を承認

JAMシニアクラブは9月4日、東京・友愛会館で2020年度定期総会を開催した。総会には役員と代議員68名が出席、議長に的山勇治(富山)、高村勉(九州山口)の2名の代議員を選出し、会員拡大と地域活動の強化に向けた取り組みを柱とする新年度活動方針・予算を決定した。また、2020・21年度の新役員を選出した。

大山勝也会長は冒頭の挨拶で参議院選挙結果にふれ「3年前を上

回る活動をして頂いたが議席確保出来なかった」、政党選択をせざるをえない状況で「政

党選択によって明暗が分かれた」とし、「支

率は低迷する政党ではまともな結果に大変だった。壁があった」「会

員がシニアから離れる」「候補者を立てる以上

は当選第一で考えるべきだ」と強調した。

先の参議院選挙では、会員の皆さんには3年前を上回る取り組みをしていただきまし

た。御礼申し上げます。残念ながらJAMは議席を確保することができま

せませんでした。参議院選挙は、連合各単産の組織内候補が政党選択を

せざるを得ない状況で取り組み、その政党選択によって明暗が分

りました。支持率が低迷している政党の候補者が故に難

さもあつたことなどを含め、選挙に関する意見交換を行っていきます。政権選択である総選挙では安倍政権の退陣を求め、安倍政治を変えるスタンスで取り組みます。

向こう1年間の活動では、

まず第1には、「核兵器廃絶1000万署名」です。5

年に1度開催される国連の「核兵器不拡

散条約再検討会議」に向けての署名活動です。アメリカとロシアの「中距離核戦力全廃条約」が失効し、小型核兵器の開発、核ミサイルの地上配備など

中国を含め核開発競争が拡大する可能性があります。今回の署名は2017年7月7日に国連総会で採択された

それ自体に問題がある以上、制度の改革が必要です。また、要介護1、2の生活援助サービスを介護保険制度からはずして地方自治体の総合事業に移行させることなど、介護保険制度を改善する法案を来年の通常国会に出す動きがあります。向こう1年、介護に加え

社会保障後退を許すな

会員8千人台をめざす

JAMシニアクラブ会長 大山 勝也

「核兵器廃絶1000万署名」です。5年に1度開催される国連の「核兵器不拡散条約」の批准も求める署名です。

第2に社会保障に関する取り組みです。遅れていた年金の財政検証が公表されました。マクロ経済スライドにより将来、基礎年金の給付水準が大幅に低下する見通しが示されました。制度

「核兵器禁止条約」の批准も求める署名です。第2に社会保障に関する取り組みです。遅れていた年金の財政検証が公表されました。マクロ経済スライドにより将来、基礎年金の給付水準が大幅に低下する見通しが示されました。制度

健康に留意して活動を推進しましょう。

台風の季節になりました。豪雨、大地震など自然災害に十分に注意し、健康に留意して活動を推進しましょう。

第3に会員の拡大についてです。20地方シニアで新会員を迎えています。全体の減少が続いていますが、会員の増加に向け、8千人台を回復するためにご協力をお願いします。

会長挨拶



まず第1には、「核兵器廃絶1000万署名」です。5年に1度開催される国連の「核兵器不拡散条約」の批准も求める署名です。

第2に社会保障に関する取り組みです。遅れていた年金の財政検証が公表されました。マクロ経済スライドにより将来、基礎年金の給付水準が大幅に低下する見通しが示されました。制度

健康に留意して活動を推進しましょう。

台風の季節になりました。豪雨、大地震など自然災害に十分に注意し、健康に留意して活動を推進しましょう。

第3に会員の拡大についてです。20地方シニアで新会員を迎えています。全体の減少が続いていますが、会員の増加に向け、8千人台を回復するためにご協力をお願いします。

討論では5人の代議員から発言があった。★政策推進活動では「かつて地方議員を抱えて(裏面へ続く)

なかった。JAMを代表してお詫び申し上げます」と陳謝。「JAMと基幹労連65万組合員を抱えてこれまで以上の活動をしたにも関わらず14万3千しか出せなかった。現場で何が起こっていたのか徹底的に分析したい」と語り「JAMは先輩方がつくりあげた素晴らしい組織ですが輝きが失われつつある。もう一度輝きを取り戻したい」と「結成20周年をJAM変革のスタートの年にする」と挨拶した。

参議院選挙を闘った田中参与は「候補者として完敗の思いはない。全国の回った地域を思い浮かべながら自らの総括をしたい」「結成時から3分の1に減った地方議員を増やすことをやらなければいけない」との思いを述べた。さらに退職者連合人見会長、基幹労連シニア宮園会長から挨拶を受けた。

討論では5人の代議員から発言があった。★政策推進活動では「かつて地方議員を抱えて(裏面へ続く)

いたが、いまはゼロでこれも影響した。地方議員をつくる活動を本部の現退会議で追求して頂きたい」★組織拡大では「シニア組織の拡大は現役の仕事。現役がしっかり取り組まなかつたら成功しない。運動で一緒に苦労した仲間が集う場所を設けるために現役が組織を掘り起こさなければダメだ」「野放し状態になっている60歳世代への対応が急務だ」「60歳以降が宙ぶらりんの状態。再雇用でなく定年延長とし、定年後移行できる形をつくるよう現役に強く申し入れてもらいたい」「シニア共済に対する現役の認識が全く薄い。資料も活用されていない。



**橋村良夫顧問が
退任されました**

長い間ご苦労様でした。
橋村さんはシニアクラブ

結成準備委員会のメンバーとして、結成時から事務局長を4期8年、会長を2期4年、顧問3期6年務められ、JAMシニアクラブの礎を築く大きな功績を残されました。

また顧問になってからも様々な案件ごとに貴重なアドバイスを頂きました。これまでのご協力に心より感謝申し上げます。



6月18日、湘南地区のメディカルセンター、リハビリテーションセンターとして活動されている鶴巻温泉病院に

**神奈川
地域包括ケアシステムの構築へ
鶴巻温泉病院施設の現場を見学
事務局長 加藤 照雄**

JAM神奈川シニア幹事13名が施設訪問した。鶴巻温泉病院は、回復期のリハビリテーション病院として1979年に設立され、総病床数583床、内にリハビリに206床、療養

病棟に172床、他に障害者施設、特殊疾患緩和ケア、地域包括ケア病棟等に205床の大きな病院。この病院を719人の職員が運営を支え、神奈川県湘南地区、平塚市、大磯市、二宮市、伊勢原市、秦野市(587千人)を担当する2次医療機関。救急、救命病院で危機状態を脱した患者を、日常生活に戻るようリハビリテーションにより支援する。

施設見学・学習会では、鈴木院長による病院の概要と、病院が目指す地域包括ケアシステムの取り組みについての講話、

リハビリテーション部・木村部長によるリハビリの概要と、日常生活へ戻れる支援について講話を受けた。鶴巻温泉病院は地域の中核病院として、団塊世代が高齢化する社会を迎える中、2025年問題の対策として、地域包括ケアシステムの支援、サービス提供体制の構築を目指している。日常生活が出来るまで回復すると、住み慣れた地域で在宅や、介護施設で生活できるよう、患者の住まわれている地域のかかりつけ医・ケアマネジャーと病院のソーシャルワ

**山 陰
会員交流バスツアー
歴史ロマン溢れる吉備路を訪ねる
会長 遠藤 渡**

今年松江市で日本三大船神事の一つ「ホーランエンヤ」が10年ぶりに催行されたことから、5月に行っている

交流バスツアーを6月9日に行った。日程変更の影響から参加者が少なく16名となった。松江駅で全員が勢揃い、



バスは一路、岡山県の歴史ロマンあふれる吉備路へ。最初の訪問地の備中国分寺ではボランティアアガイドさんから、聖武天皇の発願によって創建された国分寺の一つであるが、南北朝時代に焼失し、現在は江戸時代中期に再建された真言宗の「日照山国分寺」で、ご本尊は薬師如来である等々の説明がされた。次吉備津彦神社でもガイドさんをお願いし、神社には大吉備津彦命が祭られ、桃太郎伝説ゆかりの神社である。吉備津彦神社参拝の後は「両参り」として吉備津神社に参拝するものとされており、吉備津神社に参拝し、帰路についた。

者にとって幸せなものになるものと思つ。神奈川シニアでは政策・制度要求で地域包括ケアシステムの構築を国や県の政策に要求している。地域包括ケアシステムの構築は、専門職の機能的な連携以外に、町内会・自治会の地域住民の参加による土壌豊かな地域福祉が必要不可欠となる。今回の鶴巻温泉病院の施設見学会で、私たちの要求していた地域包括ケアシステムの現場を実際に見ることができたことは今後の制度・政策要求に参考になる見学会となった。